

## 需要に応えた製品開発で国内外への市場を拡大 オンラインを活用した非接触型ビジネスモデルを構築

同社は山形県長井市に所在し、1973年より木工製品の製造販売を行う事業所である。主力製品の競技用けん玉は日本けん玉協会の認定品で「生産日本一」に認定されている。品質と精度にこだわった日本製品を長年にわたり提供してきた実績から、国内外に多くのファンを有する。近年は福祉けん玉や大人向けけん玉を開発し、新たな販路を拡大。また、木工玩具を作ってきた技術に応用し、野球用品や和太鼓用品も生産。地域の漆職人と連携して共同製作を行う等、地域の文化を発信する取組も行っている。

所在地 山形県長井市寺泉6493-2  
電話/FAX 0238-84-6062 / 0238-84-6061  
URL <https://kendama.co.jp/>  
代表者 代表取締役 梅津 雄治

設立 1973年  
資本金 800万円  
従業員数 12人



### Made in JAPANのブランド力を高め、46か国にけん玉を輸出

同社では、2009年から輸出業務を展開し、46か国にけん玉の輸出実績を持つ。Made in JAPANの品質と技術力の高さや歴史を前面に出し、中国製品等に負けないシェアを獲得している。主に、英語版ホームページ・取扱説明書・海外向け商品の開発・海外展示会への出展等により販路を広げてきた。守りの面でも米国の安全認証CPSIAの認証取得や欧州・中国・米国等での商標登録、全世界適用のPL保険にも加入し、安心して海外に販路拡大ができる取組を行っている。



英語版に翻訳された取扱説明書

### 製品の革新による壮年層・高齢者への販路拡大と地域活性化への取組

同社製品は長年、小学生主体のマーケットであったが、大人が持ってもおしゃれに感じられるようなデザイン性の高い商品を展開。また、けん玉の効用が認知症予防やひざ・腰の柔軟性の維持に効果的であることに着目し、福祉けん玉を開発。今後のビジョンを「3世代で楽しめるけん玉文化の創出」として、製品の開発により市場も広げてきた。また、地域の漆職人と共同製作した「うるし塗りのけん玉」の開発や、名産の「長井紬」製のけん玉用巾着を作ることで地域の文化を外に発信する取組も行っている。



高齢者向けに開発した福祉けん玉

### アプリやSNS等のオンラインを活用した非接触型ビジネスモデルを構築

国内外へのネット販売で活路を見出し、「山形工房けん玉アプリ」を開発。SNSを駆使して、けん玉の効用をPRすることでプレゼント需要による売上を向上させている。親御さんがアプリをダウンロードして子どもに解説するなど、世代を越えて楽しみながら、初めての方もすっかりファンとなってもらえる工夫をしている。また、普及に向けた接触型のけん玉教室をオンライン化し、Zoomによるけん玉教室や検定を受けるサービスを開発し、さらなるファンの増加に取り組んでいる。



独自開発した「山形工房けん玉アプリ」